

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	療養生活環境整備事業			事業番号	011-219
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	保健医療課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—	—	—
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	無	取組	—	—	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 8 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）、療養生活環境整備事業実施要綱			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	難病患者とその家族（堺市特定医療費（指定難病）受給者証交付件数：R5.3.31現在7,244人）	対象数	7,244	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	難病患者支援センターにおいて、疾病別の学習会や患者交流会を行い、難病患者の療養生活の質の向上や在宅での適切な医療の確保を目指す。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>○難病患者支援センターの管理運営を大阪府特定疾患研究会に委託し、患者交流会や疾病別の学習会、患者会活動の支援、ピアサポート等、難病患者支援の拠点として事業を展開する。</p> <p>○在宅で人工呼吸器を使用している指定難病患者に対し、医師の指示のもと診療報酬で定められた回数を超える訪問看護を受ける場合、その回数を超えた訪問看護にかかる費用を公費負担する。</p> <p>○難病患者等を担当するホームヘルパーの資質向上を図るため、専門の養成機関等に堺市の指定により、ホームヘルパー養成研修を実施する。介護職員初任者研修修了者などを対象に、難病基礎課程Ⅰ及び難病基礎課程Ⅱに分けて、各1日を予定（定員各50名）。</p>			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	大阪府特定疾患研究会、訪問看護ステーション			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
	難病患者支援センターにおける学習会参加者の満足度	%	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和7年度	
			目標値	100	100	100	100
			実績値	97	96		
	達成率	97%	96%				
当該指標を選定した理由	難病患者支援センターにおける学習会に参加した患者が、当該学習会の内容に満足し自らの療養生活に資することで、難病患者の療養生活及び疾病における質の向上が期待できるため						
目標値の設定根拠・算出方法	難病患者の学習会における参加満足度アンケート						
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
	難病患者支援センターにおける学習会参加者数	人	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
			目標値	700	700	700	
			実績値	227	494		
	達成率	32%	71%				
当該指標を選定した理由	より多くの患者が学習会に参加することで、難病患者の療養生活の質の向上につながるため						
目標値の設定根拠・算出方法	学習会参加人数						

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	療養生活環境整備事業	事業番号	011-219
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	34,343	35,243	36,136	36,865	39,594
13 財源内訳					
国支出金	16,422	17,621	18,063	18,065	19,792
府支出金			0		0
市債			0		0
その他 ()			0		0
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
一般財源	17,921	17,622	18,073	18,800	19,802
14 人件費 (b)	4,920	4,100	4,100	4,100	4,050
15 年間経費(c)=(a)+(b)	39,263	39,343	40,236	40,965	43,644

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	報償費	R4 決算	0		R4	決算		
		R5 予算	72	36	R5	予算		
	役務費	R4 決算	8	4	R4	決算		
		R5 予算	13	11	R5	予算		
	委託料	R4 決算	36,857	18,796	R4	決算		
		R5 予算	39,509	19,755	R5	予算		
	R4 決算			R4	決算			
	R5 予算			R5	予算			
	R4 決算			R4	決算			
	R5 予算			R5	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
17 ① 難病患者支援センターにおける学習会及び交流会参加人数	人	227	494
② 上記①にかかる年間経費	千円	3,520	3,520
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	15,507	7,126
備考 (算出についての説明等)		難病患者支援センター運営費の人件費で計算	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたものの、積極的にオンライン開催を実施したことにより、難病患者支援センターにおける相談件数・学習会の開催数、参加者数ともに増加し、費用対効果も大きく回復した。</p> <p>本事業は、難病患者の療養生活の質の向上において必要である。新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類感染症に位置づけられたことを踏まえ、参加者数の更なる増加をめざすとともに、適切な相談支援や学習会開催が実施できる手法（WEB活用など）を引き続き検討していく。</p>
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>難病患者支援センターにおける相談事業や学習会による情報提供や、在宅人工呼吸器が必要な患者への支援を通じて、難病患者の療養生活の質の向上や在宅での適切な医療の確保に寄与したものと考えている。</p>
----	---